DX推進指標 自己診断結果 分析レポート（2024年版）概要版

2025年5月7日

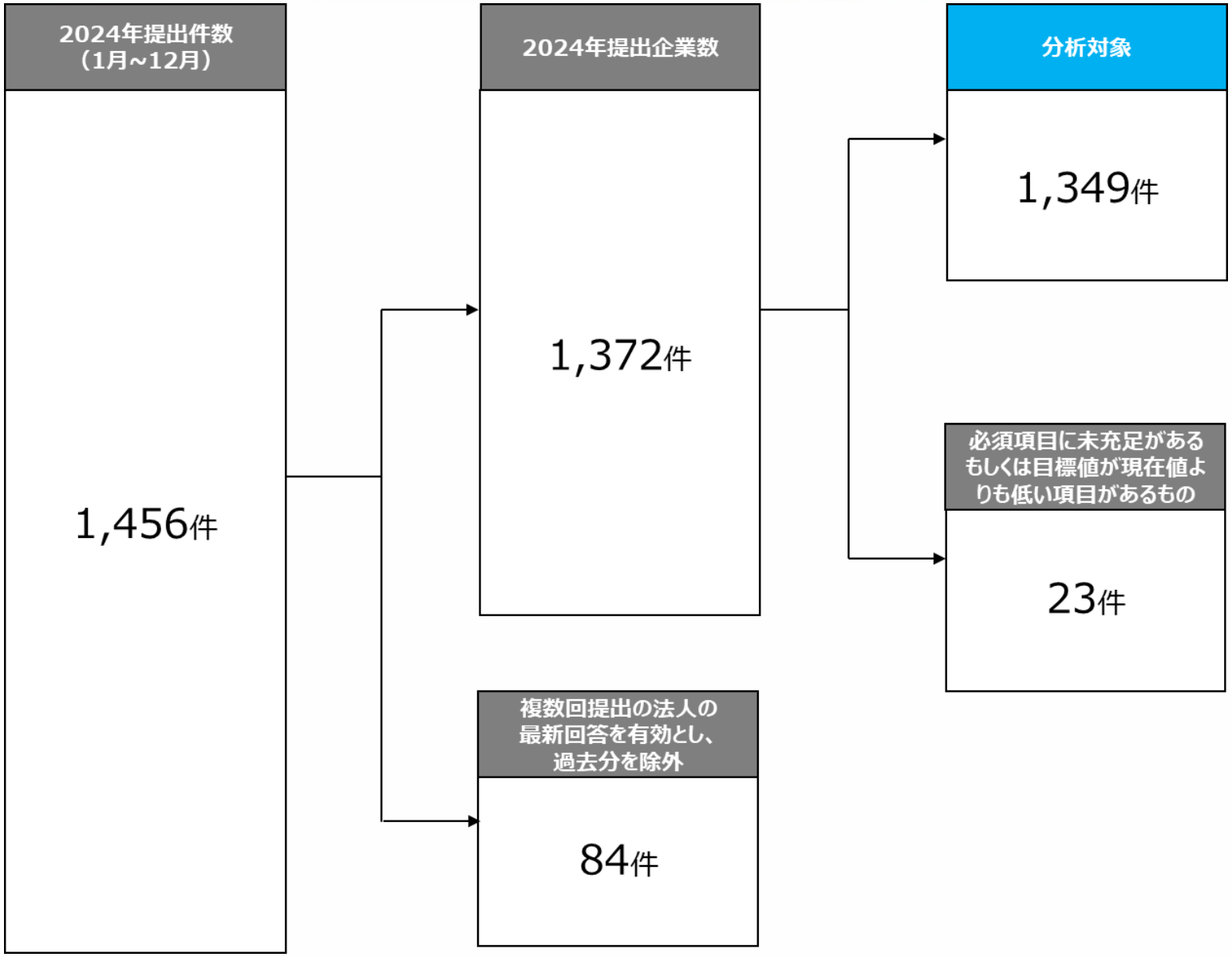
独立行政法人情報処理推進機構
デジタル基盤センターデジタルトランスフォーメーション部

IPA Better Life with IT

まとめ

- **2025年の崖を目前に1,300社を超える回答が集まる：**
  2025年の崖を目前に控える本年は、1,349件の自己診断結果の提出があり、そのうち約7割が中小企業、3割が大企業からの提出であった。DX推進指標は2022年にものづくり補助金の一部の申請において自己診断結果の提出が要件となったこともあり、2023年は4,000社を超える企業からの提出が見られた。その後、同補助金の申請要件から外れたものの引き続き多くの企業、さまざまな業種の企業からの提出がみられた。
- **2024年の全体的な傾向：**
  DX推進の成熟度は「レベル0～レベル2未満」に偏っており、レベル4以上の企業は全体の1%と非常に少ないことがわかった。レベル3以上である「全社戦略に基づく実施」がなされている企業は少なく、多くの企業のDX推進は「一部での散発的実施」にとどまっていることがわかった。
- **全企業におけるDX推進の成熟度の現在値と目標値：**
  全指標では、現在値が1.67、目標値が3.34で、その差は1.67に上る。経営視点指標およびIT視点指標においてもほぼ同様の差があり、企業がDXを推進するには「DXのための経営の仕組み」と「その基盤としての IT システムの構築」を両輪として、目標策定とアクションを実行する必要があることがわかった。
- **先行企業、DX認定企業、連続提出企業は経営視点の指標が高い：**
  大企業、先行企業、DX認定企業、2 年連続提出企業は、いずれも経営視点指標のほうが IT視点指標よりも高い結果となった。DXを積極的に進めている企業では経営視点の取組の重要性を理解し、積極的に取り組んでいることがわかる。

分析の対象


2024年提出件数
（1月~12月）
1,456件
2024年提出企業数
1,372件
複数回提出の法人の
最新回答を有効とし、
過去分を除外
84件
分析対象
1,349件
必須項目に未充足がある
もしくは目標値が現在値よ
りも低い項目があるもの
23件

分析対象の企業規模別の内訳と前年との比較

前述した通り、2023年にものづくり補助金の申請要件から外れたものの引き続き多くの企業、さまざまな業種の企業からの提出がみられた。企業規模別では、2024年は回答の約7割が中小企業であった。

企業規模別回答企業数の内訳

区分	従業員規模	2023年			2024年			対前年増減	
		社数	区分合計	割合	社数	区分合計	割合	増減	割合
中小企業	1.20人未満	2,371	3,533	89.3%	388	941	69.8%	▲2,592	▲19.5%
	2.20人以上100人未満	974			387				
	3.100人以上300人未満	188			166				
大企業	3.100人以上300人未満	70	423	10.7%	40	408	30.2%	▲15	+19.5%
	4.300人以上500人未満	60			71				
	5.500人以上1,000人未満	68			67				
	6.1,000人以上3,000人未満	89			103				
	7.3,000人以上	136			127				
	総計	3,956	3,956	100.0%	1,349	1,349	100.0%	▲2,607	

※従業員数 100 人未満の卸売業・サービス業・小売業の企業、及びそれ以外の業種における従業員数 300 人未満の企業を中小企業と定義している。

分析対象の業種別・売上高規模別の内訳と前年との比較

業種で最も回答数が多いのは製造業（素材)であり、次いでサービス業、情報通信業であった。また、売上高規模別では最も回答数が多いのは3億円未満であり、次いで3億円以上10億円未満、1,000億円以上であった。

業種別回答企業数の内訳

業種別	2023年		2024年		対前年増減	
	社数	割合	社数	割合	増減	割合
A.水産・農林業	33	0.8%	11	0.8%	▲22	0.0
B.鉱業・採石業・砂利採取業	5	0.1%	2	0.1%	▲3	0.0
C.建設業	295	7.5%	115	8.5%	▲180	+1.0%
D.製造業（生活関連）	163	4.1%	77	5.7%	▲86	+1.6%
E.製造業（素材）	283	7.2%	221	16.4%	▲62	+9.2%
F.製造業（機器）	218	5.5%	140	10.4%	▲78	+4.9%
G.製造業（その他）	160	4.0%	70	5.2%	▲90	+1.2%
H.電気・ガス・熱供給・水道業	9	0.2%	18	1.3%	+9	+1.1%
I.運輸業・郵便業	71	1.8%	36	2.7%	▲35	+0.9%
J.情報通信業	570	14.4%	202	15.0%	▲368	+0.6%
K.卸売業・小売業	354	8.9%	105	7.8%	▲249	▲1.1%
L.金融業・保険業	53	1.3%	66	4.9%	+13	+3.6%
M.不動産業・物品賃貸業	57	1.4%	25	1.9%	▲32	+0.5%
N.サービス業	1,014	25.6%	207	15.3%	▲807	▲10.3%
O.教育・学習支援業	38	1.0%	10	0.7%	▲28	▲0.3%
P.医療・福祉	629	15.9%	44	3.3%	▲585	▲12.6%
Q.公務	4	0.1%	0	0%	▲4	▲0.1%
総計	3,956	100.0%	1,349	100.0%	▲2,607	

売上高規模別の内訳

売上高別	2023年		2024年		対前年増減	
	社数	割合	社数	割合	増減	割合
1.3億円未満	2,460	62.2%	393	29.1%	▲2,067	▲33.1%
2.3億円以上10億円未満	646	16.3%	239	17.7%	▲407	+1.4%
3.10億円以上20億円未満	228	5.8%	125	9.3%	▲103	+3.5%
4.20億円以上50億円未満	191	4.8%	158	11.7%	▲33	+6.9%
5.50億円以上100億円未満	81	2.0%	70	5.2%	▲11	+3.2%
6.100億円以上500億円未満	135	3.4%	145	10.7%	+10	+7.3%
7.500億円以上1,000億円未満	36	0.9%	46	3.4%	+10	+2.5%
8.1,000億円以上	179	4.5%	173	12.8%	▲6	+8.3%
総計	3,956	100.0%	1,349	100.0%	▲2,607	

分析の構成

観点	手法（共通）	手法（個別）
全体傾向	全指標、経営視点指標（定性）、IT 視点指標（定性）の現在値と目標値の平均の算出	・ 現在値の平均による企業数の分布の算出 ・ 現在値と目標値の平均の上位下位5指標の抽出 ・ 現在値と目標値の標準偏差の算出 ・ 現在値と目標値の差の上位下位5指標の抽出
中小企業		・ 従業員数規模、業種の内訳の算出 ・ 中小企業と大企業の比較 ・ 現在値の平均の差の上位下位5指標の抽出
先行企業		・ 従業員数規模、業種の内訳の算出 ・ 先行企業と非先行企業の比較 ・ 現在値の平均の差の上位下位5指標の抽出
DX認定企業		・ 従業員数規模、業種の内訳の算出 ・ DX認定企業とDX認定未取得企業の比較 ・ 現在値の平均の差の上位下位5指標の抽出
経年変化（2年連続提出企業）		・ 企業規模ごとの現在値の経年変化の確認 ・ Wilcoxson検定による有意差のある指標の確認

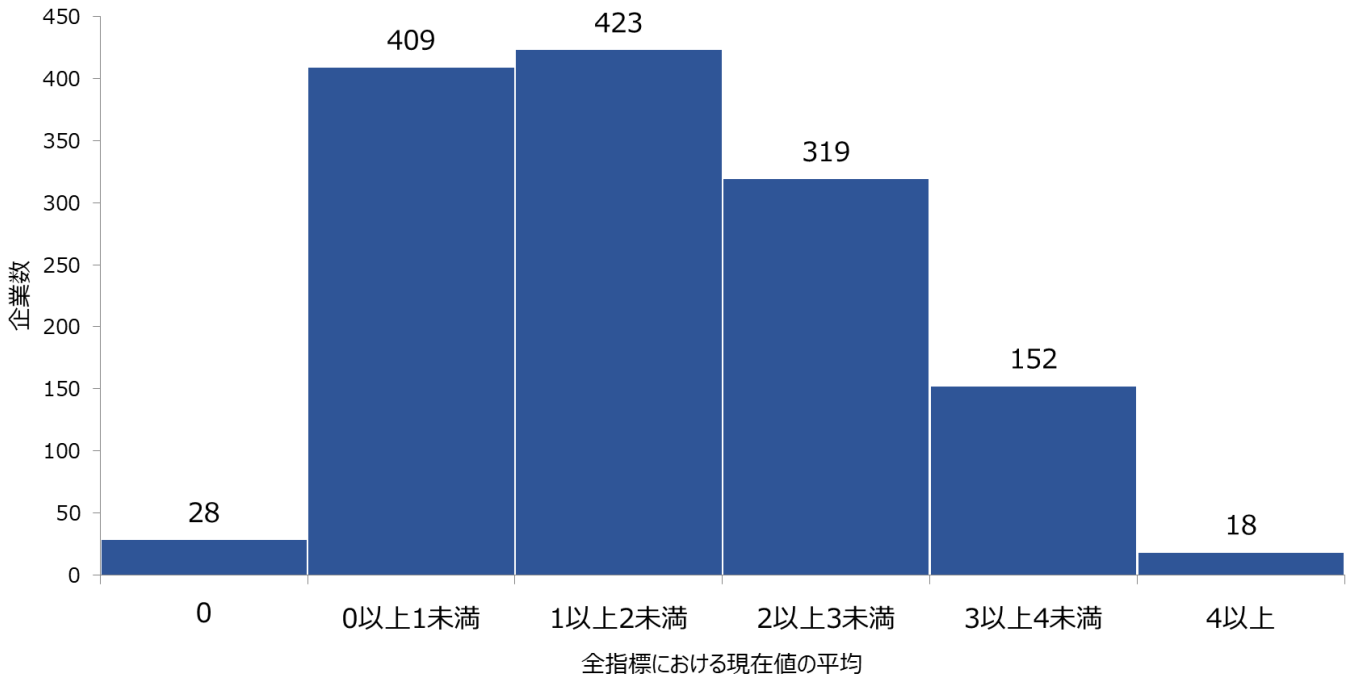
分析結果 全企業の全体傾向

- 2024年度単年の全体的な傾向として、自己診断結果を提出した分析対象である1,349件の企業の現在値の分布は以下の通り。レベル0の企業は全体の2%、4以上の企業は1%と非常に少なく、成熟度の分布でもっとも多いのは「レベル1以上2未満」であり、次いで「レベル0以上1未満」であった。
- 企業のDX推進の成熟度は「0～2未満」に偏っており、4以上の企業は全体の1%と非常に少ないことがわかる。このことから、DX推進において「全社戦略に基づく持続的実施」がなされている企業はほぼなく、多くの企業のDX推進は「一部での散発的実施」にとどまっているといえる。

2024年DX推進指標提出企業の平均値の分布表

全指標における現在値の平均	頻度
0	28
0以上1未満	409
1以上2未満	423
2以上3未満	319
3以上4未満	152
4以上	18

全指標における現在値の平均分布（2024年）



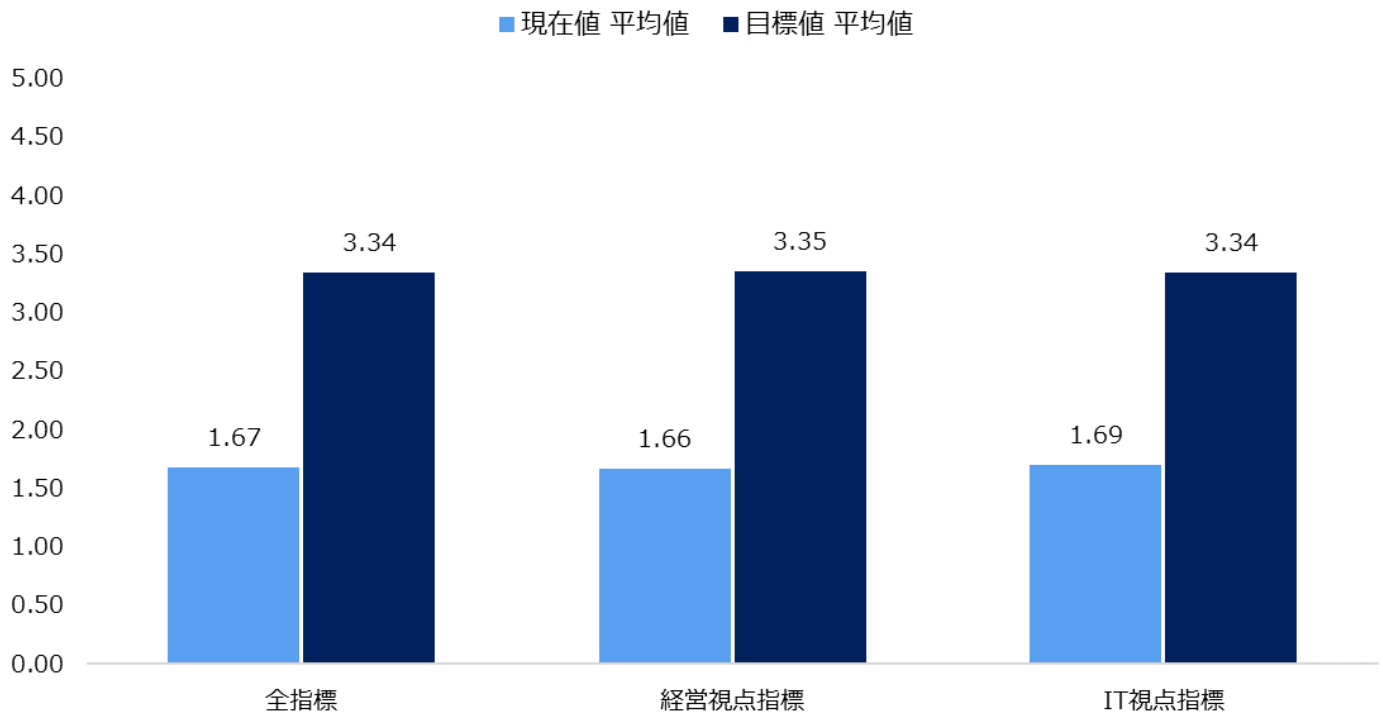
分析結果　全企業の全体傾向

- 2024年の全指標の現在値の平均値は1.67であり、中央値は2であった。そして目標値の平均値は3.34、中央値は3であり、その差は1.67であった。
- 経営視点指標とIT視点指標もほぼ同様の差が開いていることから、企業が目標を達成するために「DX のための経営の仕組み」と「その基盤としての IT システムの構築」を両輪として、DXを推進するために目標策定とアクションを実行する必要がある。

全企業における現在値と目標値の平均値と中央値

指標	現在値		目標値	
	平均値	中央値	平均値	中央値
全指標	1.67	2.00	3.34	3.00
経営視点指標	1.66	2.00	3.35	3.00
IT視点指標	1.69	2.00	3.34	3.00

全企業の現在値と目標値の差



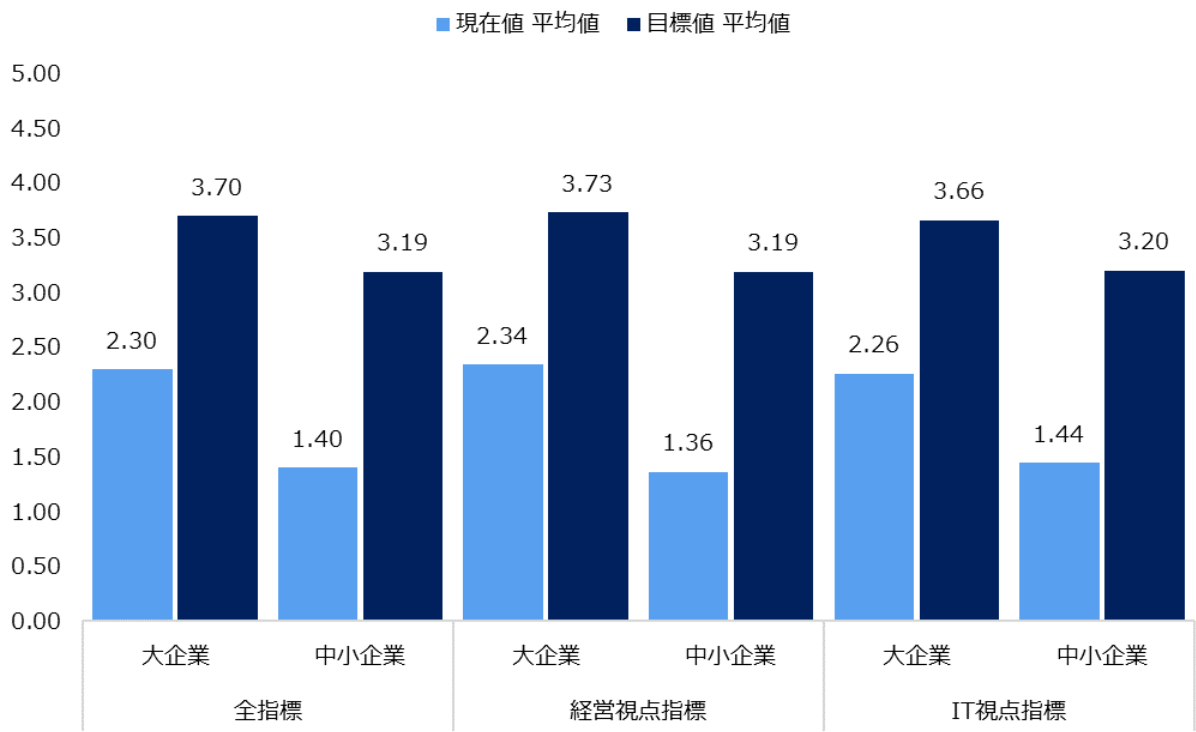
分析結果　大企業と中小企業の傾向

- 大企業の現在値の平均は2.30、経営視点指標は2.34、IT視点指標は2.26であった。中小企業の現在値の平均は1.40、経営視点指標は1.36、IT視点指標は1.44であった。
- 大企業の現在値2.30は中小企業の現在値1.40と0.9のギャップがあり、DX推進における大企業と中小企業の取り組みの成熟度にはレベル1近くの差が開いている。そして大企業の3年後の目標は「全社戦略に基づく持続的実施」を目指す企業が主だが、中小企業においては「全社戦略に基づく部門横断的推進」を目標としている企業が主であった。

大企業と中小企業それぞれの現在値と目標値の平均値と中央値

指標名	企業区分	現在値		目標値	
		平均値	中央値	平均値	中央値
全指標	大企業	2.30	2.00	3.70	4.00
	中小企業	1.40	1.00	3.19	3.00
経営視点指標	大企業	2.34	2.00	3.73	4.00
	中小企業	1.36	1.00	3.19	3.00
IT視点指標	大企業	2.26	2.00	3.66	4.00
	中小企業	1.44	1.00	3.20	3.00

大企業と中小企業それぞれの現在値と目標値の差



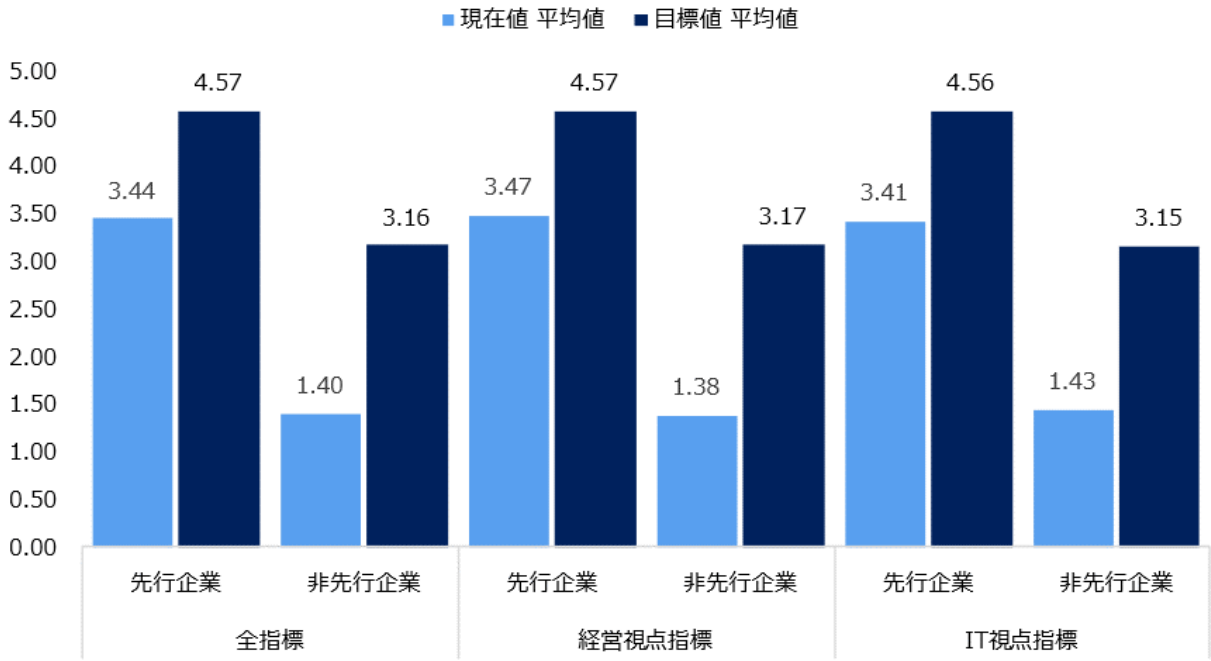
分析結果　先行企業と非先行企業の傾向

- 先行企業の現在値の平均は3.44、経営視点指標は3.47、IT視点指標は3.41であった。非先行企業の現在値の平均は1.40、経営視点指標は1.38、IT視点指標は1.43であった。
- 先行企業の現在値3.44は非先行企業の現在値1.40と2.04のギャップがあり、先行企業と非先行企業の取り組みの成熟度にはレベル2以上の差が開いている。先行企業の3年後の目標は「デジタル企業として、グローバル競争を勝ち抜くことのできるレベル」を目指す企業が主だが、非先行企業においては「全社戦略に基づく部門横断的推進」を目指す企業が主であった。

先行企業と非先行企業それぞれの現在値と目標値の平均値と中央値

指標名	企業区分	現在値		目標値	
		平均値	中央値	平均値	中央値
全指標	先行企業	3.44	3.00	4.57	5.00
	非先行企業	1.40	1.00	3.16	3.00
経営視点指標	先行企業	3.47	3.00	4.57	5.00
	非先行企業	1.38	1.00	3.17	3.00
IT視点指標	先行企業	3.41	3.00	4.56	5.00
	非先行企業	1.43	1.00	3.15	3.00

先行企業と非先行企業それぞれの現在値と目標値の差



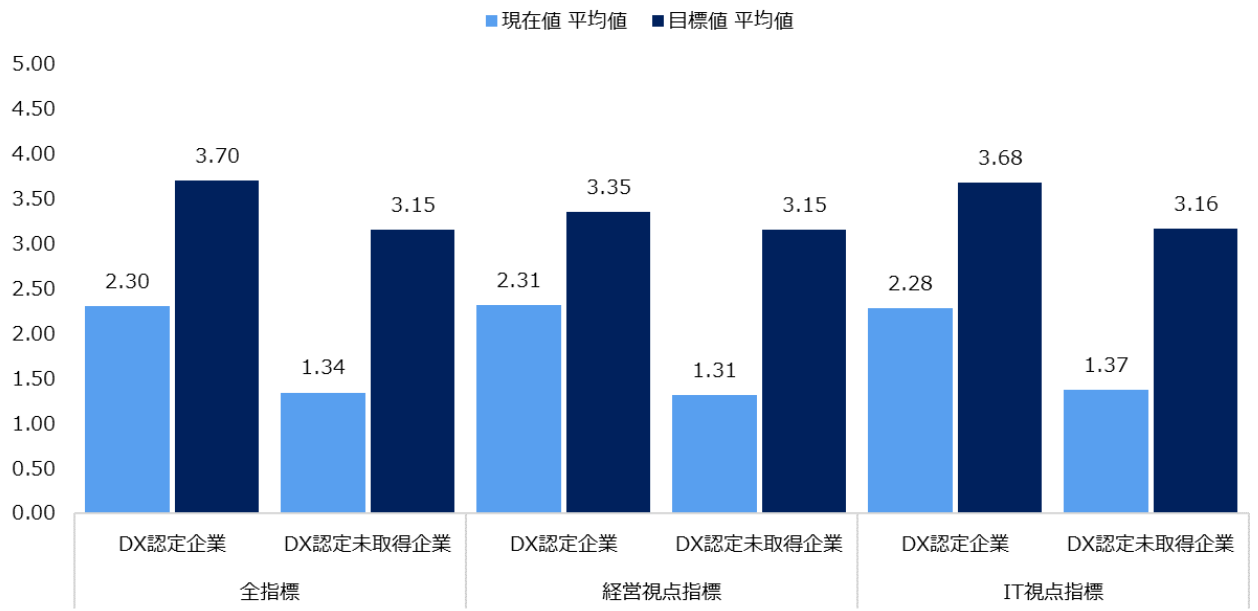
分析結果　DX認定企業と DX認定未取得企業の傾向

- DX認定企業の現在値の平均は2.30、経営視点指標は2.31、IT視点指標は2.28であった。DX認定未取得企業の現在値の平均は1.34、経営視点指標は1.31、IT視点指標は1.37であった。
- DX認定企業の現在値2.30はDX認定未取得企業の現在値1.34と0.96のギャップがあった。DX 認定企業は、DX 認定申請書提出の過程においてデジタルガバナンス・コードの基本的事項への対応を宣言するが、それに伴って着実にDX を進められているのではないかと考えられる。まだ DX 認定を取得していない企業は、ぜひ取得してほしい。

DX認定企業とDX認定未取得企業それぞれの現在値と目標値の平均値と中央値

指標名	企業区分	現在値		目標値	
		平均値	中央値	平均値	中央値
全指標	DX認定企業	2.30	2.00	3.70	4.00
	DX認定未取得企業	1.34	1.00	3.15	3.00
経営視点指標	DX認定企業	2.31	2.00	3.35	4.00
	DX認定未取得企業	1.31	1.00	3.15	3.00
IT視点指標	DX認定企業	2.28	2.00	3.68	4.00
	DX認定未取得企業	1.37	1.00	3.16	3.00

DX認定企業とDX認定未取得企業それぞれの現在値と目標値の差



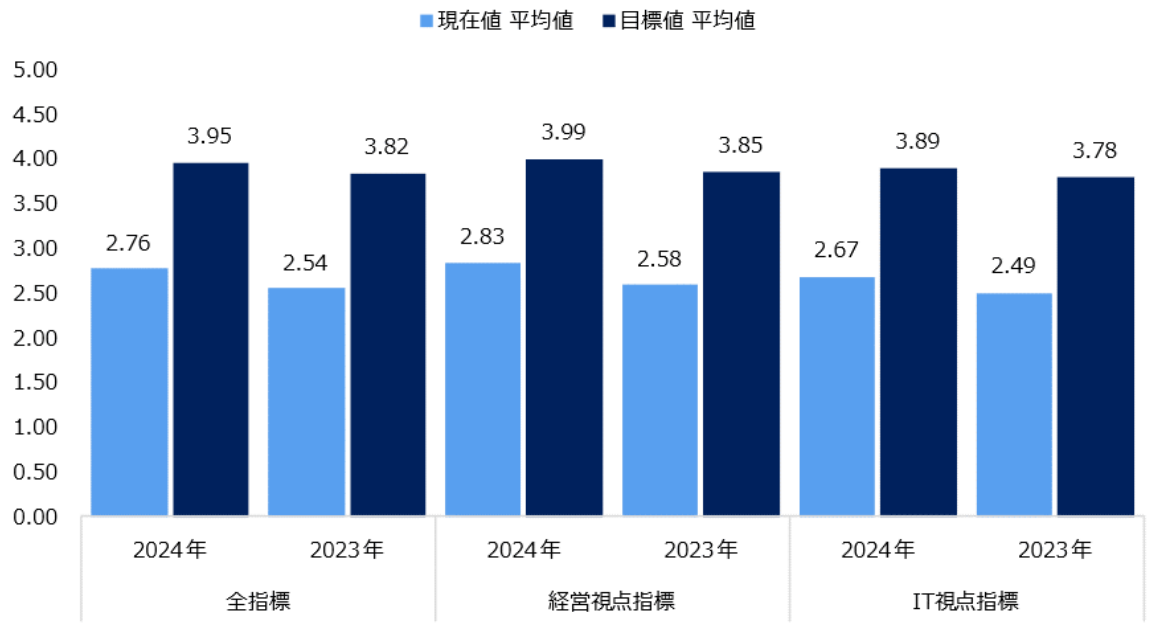
分析結果　2年連続提出している大企業の変化

- 2024年の全指標の現在値の平均は2.76で、2023年は2.54であった。2024年の経営視点指標は2.83であり、2023年は2.58であった。2024年のIT視点指標は2.67であり、2023年は2.49であった。
- 2 年連続で自己診断を提出している大企業の各指標の前年との差が大きいものは経営視点指標では「戦略とロードマップ」、次いで「投資意思決定・予算配分」、「人材の融合」であった。DX推進のために何を変えていくかを具体化し、DXの継続的な推進のために投資の意思決定や予算配分を行い、DXを実現するための仕組みや体制の構築に注力していることがうかがえる。

2年連続提出している大企業の現在値と目標値の平均値と中央値

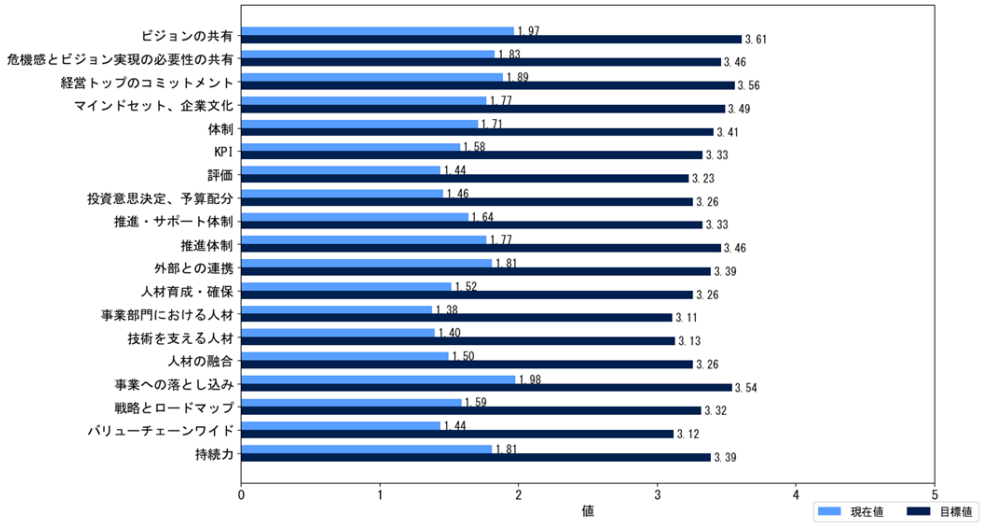
指標名	提出年	現在値		目標値	
		平均値	中央値	平均値	中央値
全指標	2024年	2.76	3.00	3.95	4.00
	2023年	2.54	3.00	3.82	4.00
経営視点指標	2024年	2.83	3.00	3.99	4.00
	2023年	2.58	3.00	3.85	4.00
IT視点指標	2024年	2.67	3.00	3.89	4.00
	2023年	2.49	3.00	3.78	4.00

2年連続提出している大企業の現在値と目標値

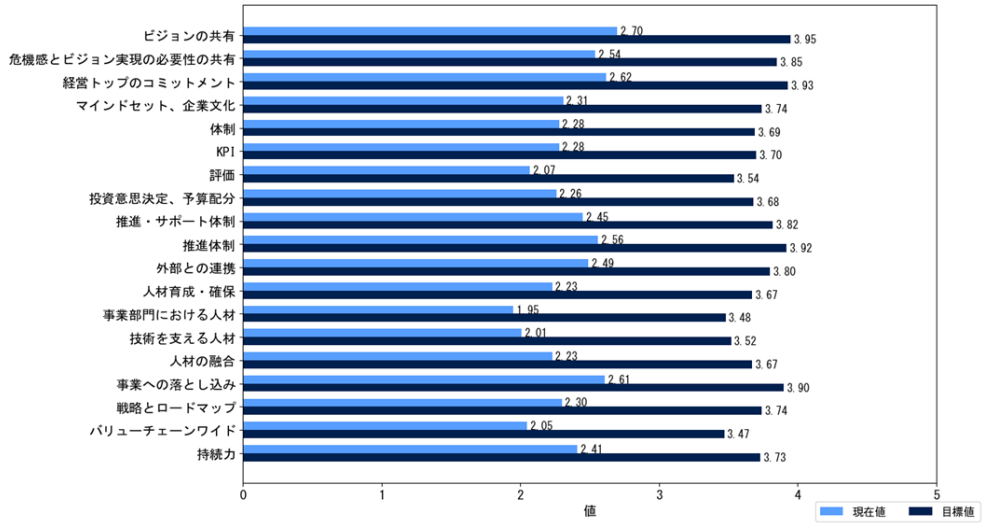


Appendix：それぞれの現在値と目標値の比較①

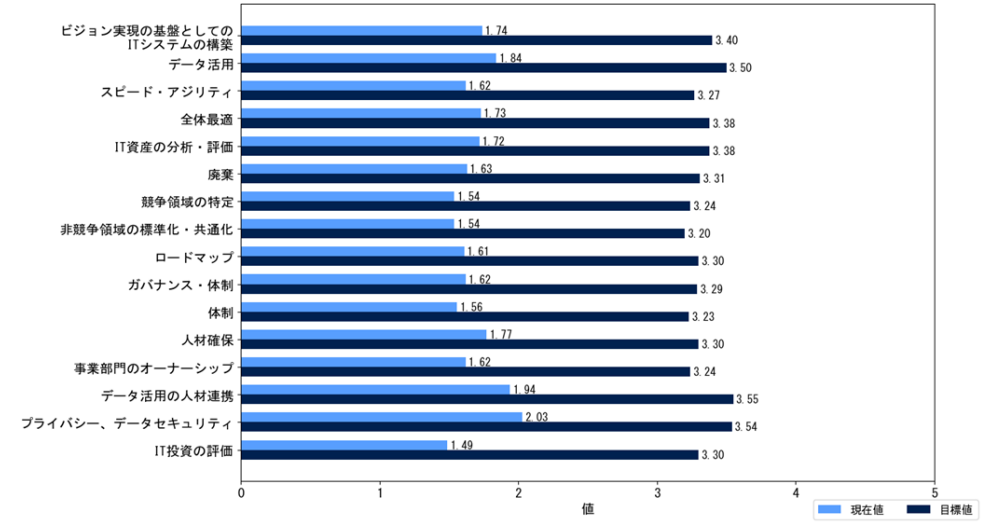
経営視点指標の各指標の現在値と目標値の比較（全企業）



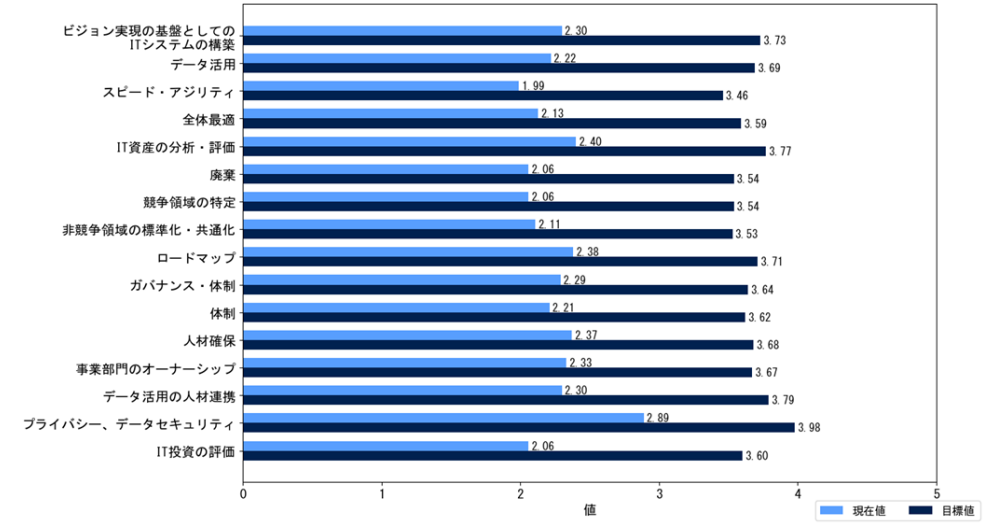
経営視点指標の各指標の現在値と目標値の比較（大企業）



IT視点指標の各指標の現在値と目標値の比較（全企業）

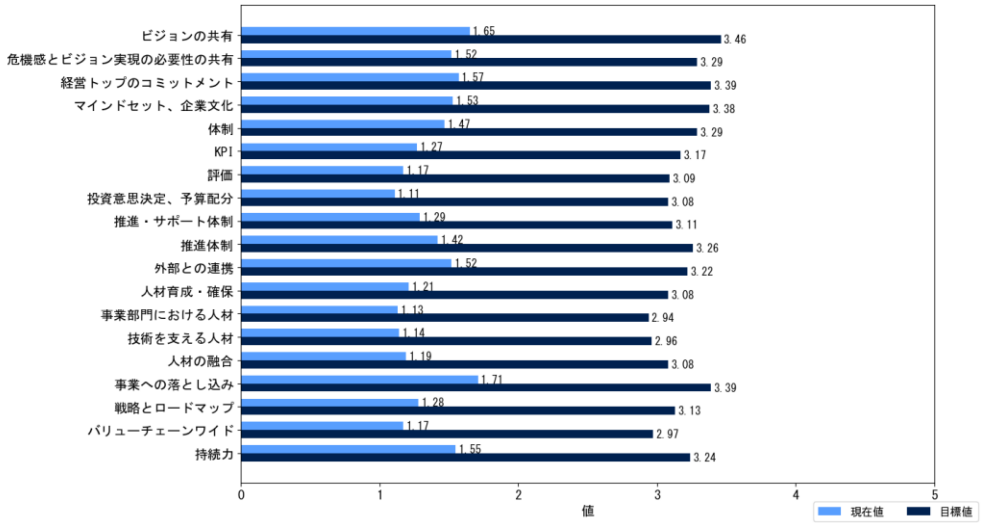


IT視点指標の各指標の現在値と目標値の比較（大企業）

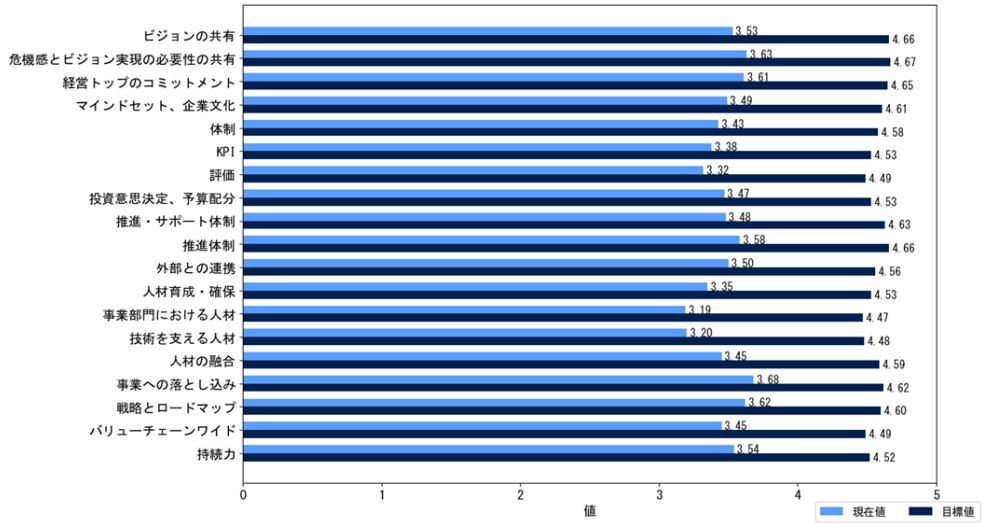


Appendix：それぞれの現在値と目標値の比較②

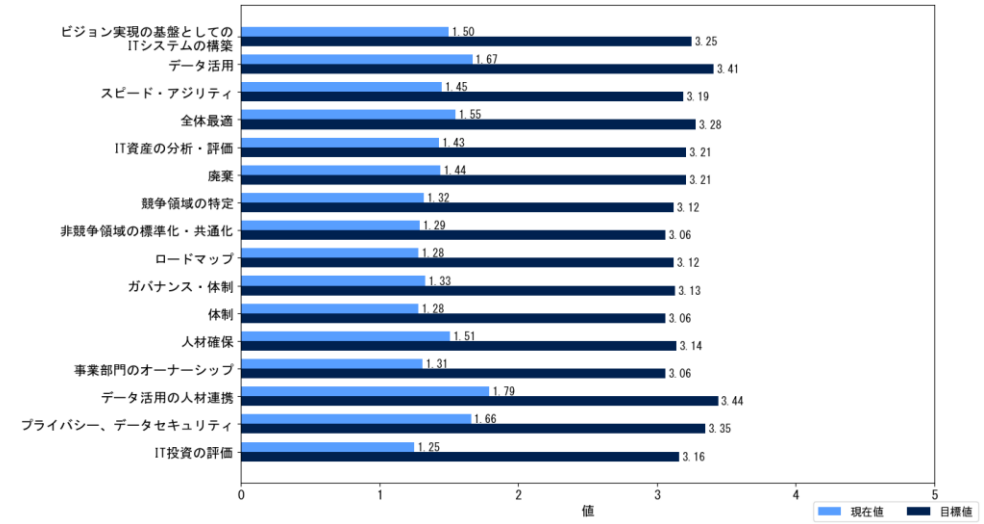
経営視点指標の各指標の現在値と目標値の比較（中小企業）



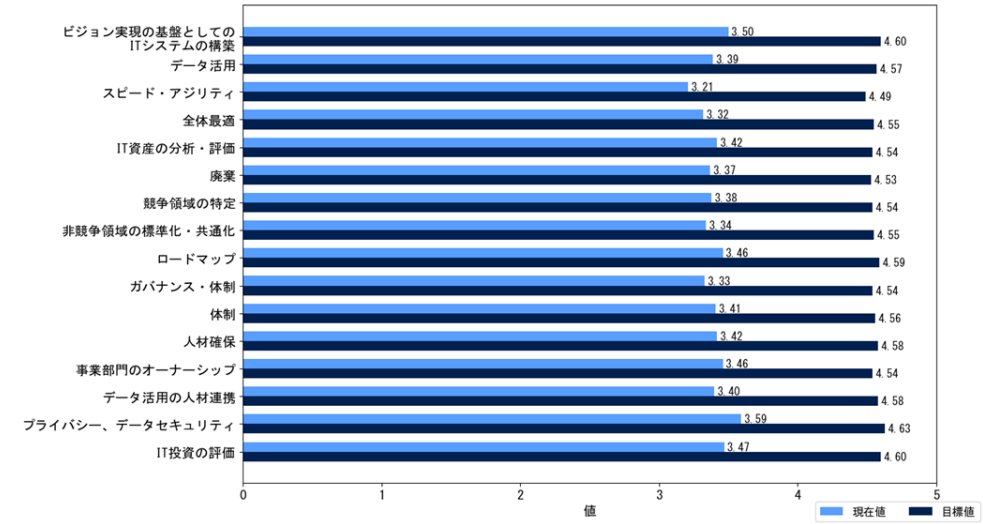
経営視点指標の各指標の現在値と目標値の比較（先行企業）



IT視点指標の各指標の現在値と目標値の比較（中小企業）

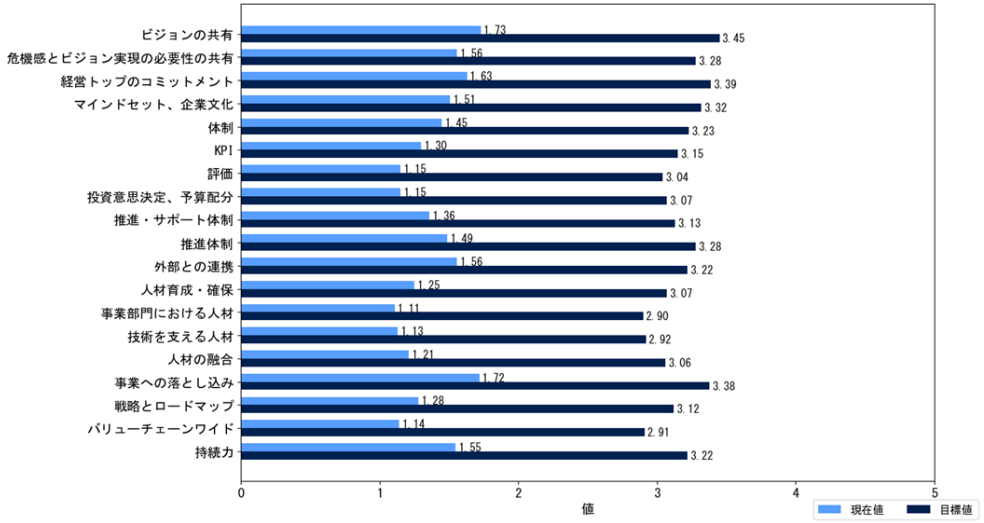


IT視点指標の各指標の現在値と目標値の比較（先行企業）

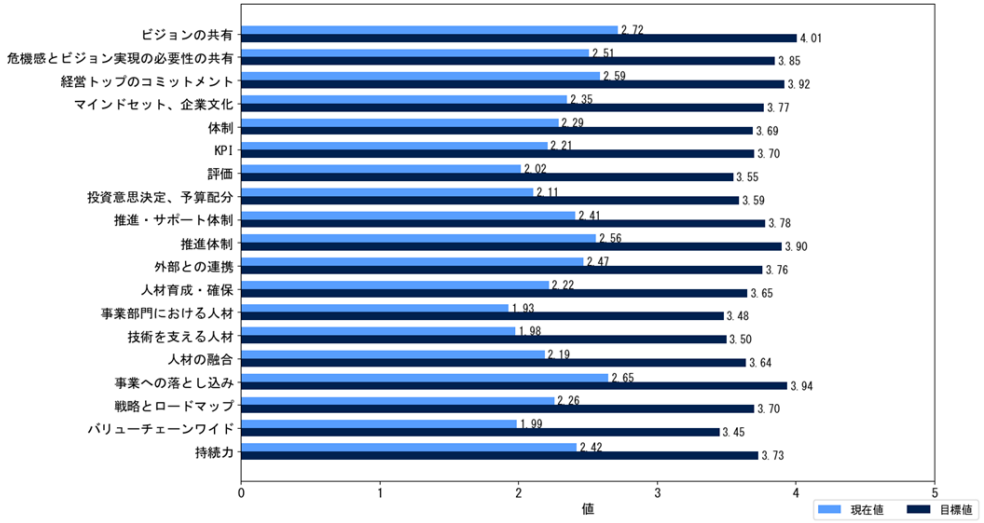


Appendix：それぞれの現在値と目標値の比較③

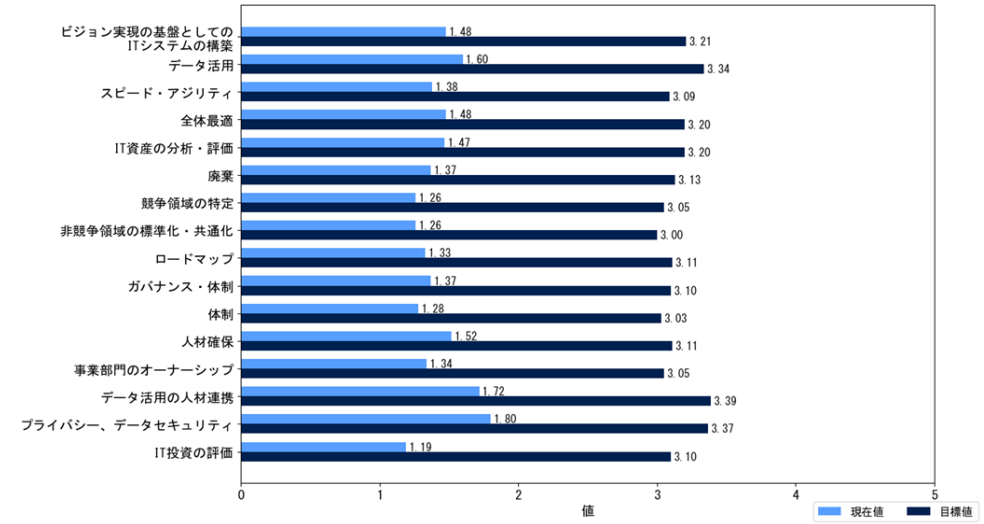
経営視点指標の各指標の現在値と目標値の比較（非先行企業）



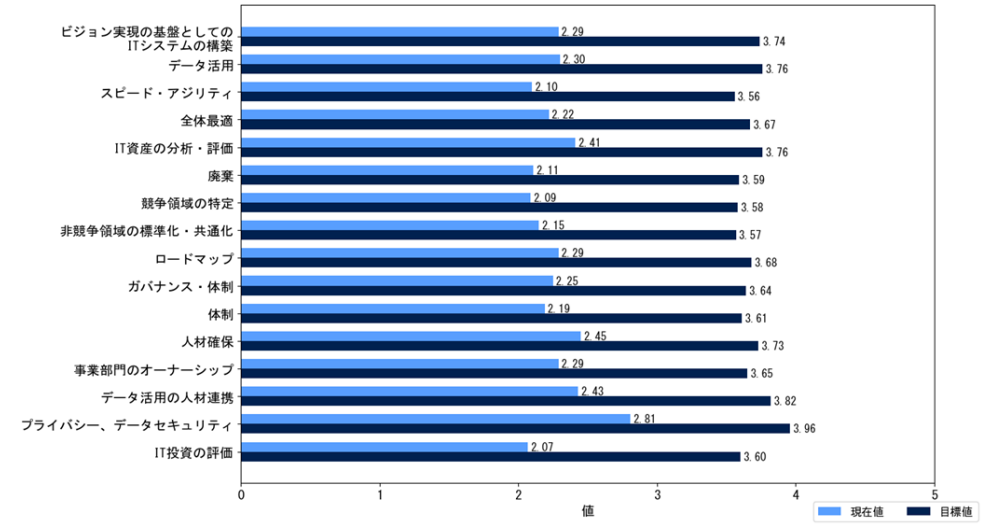
経営視点指標の各指標の現在値と目標値の比較（DX認定企業）



IT視点指標の各指標の現在値と目標値の比較（非先行企業）

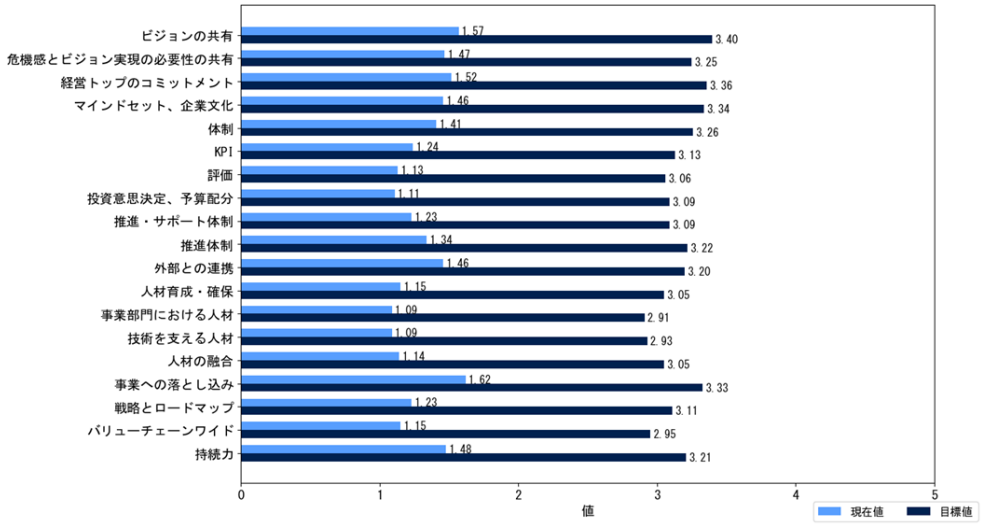


IT視点指標の各指標の現在値と目標値の比較（DX認定企業）

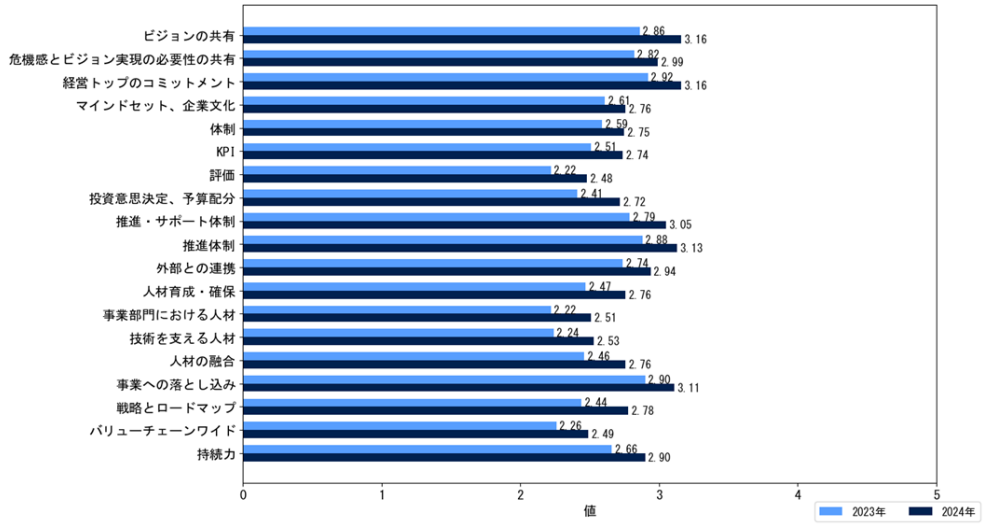


Appendix：それぞれの現在値と目標値の比較④

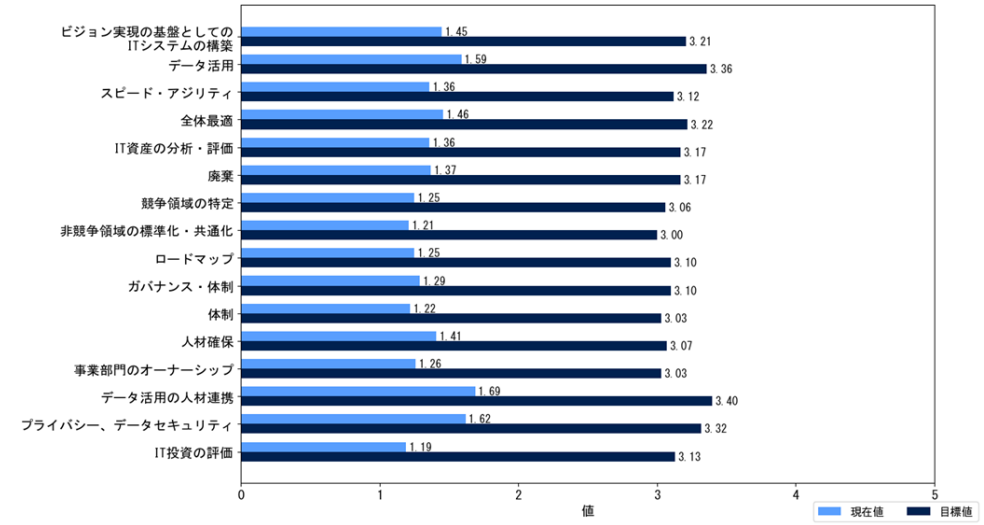
経営視点指標の各指標の現在値と目標値の比較（DX認定未取得企業企業）



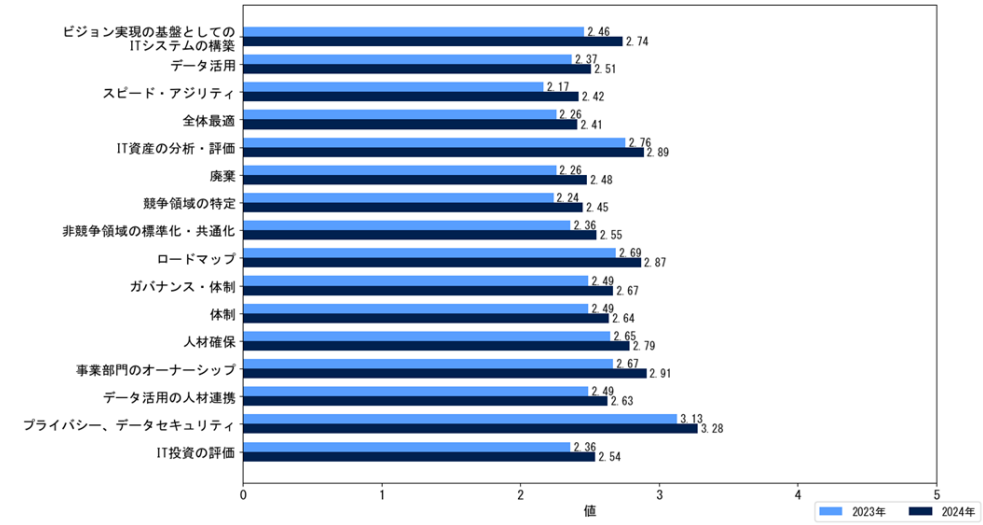
2年連続提出している大企業の2024年と2023年の現在値の平均の差（経営視点）



IT視点指標の各指標の現在値と目標値の比較（DX認定未取得企業企業）



2年連続提出している大企業の2024年と2023年の現在値の平均の差（IT視点）



IPA